

「街を知り、そこで生活し活動されている多くの方々に  
お会いする」ことが大切



発行人 会 長 亀 澤 弘



事務局長  
小澤 貞一 氏

栄区社会福祉協議会  
事務局長  
小澤 貞一

本郷中央地区の皆さま、このたび栄区社会福祉協議会の事務局長に就任しました小澤貞一と申します。どうぞ宜しく御願いたします。

4月1日から仕事につきましたが、はや3か月が過ぎようとしています。本郷台駅を降りて事務所に着くまで整然と街区形成された街並みに強い印象を持ちました。これまで区域単位に仕事をするのは、業務内容が異なりますが4回目となります。地域の皆さんといっしょにどのような仕事をしてゆけばよいのか、いつも悩みながら進めてきました。少しでも皆さんと

ご一緒させていただくには、「街を知りそこで生活し、活動されている多くの方々にお会いする」ことが大切なこと、と思っています。

皆様の地区は自治会町内会役員の方々をはじめ地区社会福祉協議会メンバー、民生委員児童委員、各種団体や福祉関係組織やボランティア活動をされている方々等、大勢の人達の連携と努力によって町が成り立っている、と感じています。

今年度からは第2期地域福祉保健計画(計画年度: 27年度まで)の事業が地区ごとにスタートします。計画策定に際しては地域の方々と話しながら、これまでの豊かな活動経験を基礎として、それぞれの活動が「つながる」ことにより事業を推進する考え方になっております。従いまして、皆さま方それぞれの活動の場にお邪魔し、お話を伺いたいと思いますので、どうぞ宜しく御願いたします。

# 敬老のつどい

日 時 本年9月20日(月)

開 場 13時

開 幕 13時30分

場 所 栄公会堂大ホール

参加者 65歳以上の参加を

希望される方

町内会自治会を通じて

参加希望者を募ります

その後プログラムを

お手元にお届けします

## 催しの内容

◎公田小学校生徒

音楽クラブの『金管合奏』

◎さかえ未来塾講師

浜ゆたかさんの

『みんなで唄おう』

◎フラダンスプアラニレファの

『みんなで踊ろう』

◎青少年指導員の皆さんの

『みんなでゲームを楽しもう』

(兼抽選会)

◇沢山の景品と

そして全員にお土産

※詳細は対象者に

お知らせします

# 本郷中央地区社会福祉協議会 三十周年記念のつどい

6月27日(日)午後1時30

分本郷地区センター2階大集会室に、79名の本郷中央地区を中心とした社会福祉関係者をはじめ、栄区内福祉関係各界代表者などの来賓で、会場は満席。紅白の幔幕で場内は華やぎを添えていました。加えてタウンニュースの取材カメラがこの記念すべきつどいを更に盛り上げる雰囲気の中、開会。司会者は、当地区社協佐野勝彦副会長。冒頭、開会の辞を

郷中央地区社会福祉協議会 創立三十周年記



本郷中央連合町内会自治会 城戸謙治副会長が、次いで本郷中央地区社会福祉協議会 亀山弘会長が「30周年記念のつどいを契機として、決意を新たに福祉活動を展開したい」と述べました。引き続き共催者の本中連野村政晴会長が、「30年前の本郷中央地区の有り様と現在の地域の有り様とは大変変化している中、福祉活動のさらなる発展を望む」との挨拶がありました。

ここで、この野村会長が当地区社協に一番永く関わり支援してきたことに対し、感謝し、今後の一層の協力を望んで、地区社協亀澤会長より、記念品を添えて感謝状の贈呈が行われました。

来賓挨拶では、光田清隆栄区長、地元選出議員団代表 藤田みちる市議、また区連合町内会として豊田連合町内会自治会磯崎保和会長から



それぞれ祝の言葉がありました。式典閉会の辞は、地区社協竹谷康生副会長が行ない、第二部に移行。

協が取組むべき具体的な提言として、「現在の組織メンバーに新たな活動人材を加えること」「地区社協のマネージメント性を持つ」など、極めて意義深い、このつどいのねらいとするところに合致した講演内容でありました。この示唆に富んだ提言は、同席していただいた、各地区社協会長などは大いに参考になったことと思えます。

物静かなバックミュージックを流れる中、参加者がお互い思い思いに、交流の輪が広がりました。テーブルスピーチでは、栄区役所福祉保健センター後藤和男担当部長が祝いの一句。次いで各地区社協を代表して、上郷東地区の高橋勝美会長から。また引き続き桂台ケアプラザ石塚淳所長から夫々、心の温まる祝の言葉を頂きました。

こうした盛り上がりを見せた記念のつどいの締め括りは、本中連監事、フローラ桂台自治会細田利明会長の一本で、爽やかに閉宴となりました。閉宴の辞は当地区社協佐野勝彦副会長がお礼を述べた散会となりました。

「地区社会福祉協議会の役割と活動」講師横浜地域人材開発協会代表齊藤文人氏。論旨の要点として、「地区社協の役割は少子高齢化の進む中で、今後益々重要になってくる。その原点は地域の人たちへのリ幸せづくりである。」

「ポイント」は、地域の人たちがリ幸せでないリ問題をとらえて活動展開を図ってゆくことが大切である。」として、地区社

第四部は「小宴」となり、参加者への心づくしの会席料理と飲物で、場内全体が和気あいあいの雰囲気となる。乾杯の音頭は栄区社会福祉協議会小澤貞一事務局長にお願いをしました。



# 平成22年度 評議員会開催

## 災害時要援護者支援 システムづくりを促進

平成22年5月29日(土)、本郷地区センターにて、本郷中央地区社会福祉協議会の評議員会が開かれました。当日は来賓として、栄区社会福祉協議会事務局から小澤局長のご出席がありました。当日の評議員の出席は45名でした。

★ 平成21年度の事業報告・会計報告が行われ、承認されました。続いて、平成22年度の事業計画・予算について討議・検討が行われ、承認されました。

★ 主な事業計画は、地域の高齢者の皆さんのための「敬老のつどい」や安心して暮らせるまちづくりのための福祉講座などについていろいろな意見が出され、今後の活動に反映されることになりました。

地域の福祉は、町内会・自治会との連携が重要なので、副会長として、連合町内会の事務局長の竹谷氏が就任されました。(ご挨拶を下段に掲載します)

構成団体での役員交代によって新しく評議員になられた方々の紹介がありました。

### 平成22年度の主な事業

◇「敬老のつどい」

9月20日(月)(敬老の日)  
栄公会堂

◇福祉講座開催

福祉に関して地域の啓蒙を目的とした講座

◇いかだまつり 8月22日(日)

◇青少年対応懇談会

地域の青少年の社会参加の仕組みなどを検討

◇広報活動

本紙「ふれあい通信」を年4回発行

◇特志賛助会員募集

地域福祉の強化、発展、充実を図るため、皆様からの篤志をお願いしています。

◇団体支援事業

●子育て喫茶 「げんき」

●高齢者会食会 「三水会」

●身体の不自由な方への  
デイサービス 「公田山百合」

●高齢者活動 「シニア同友会」

●子ども支援菜園

◇関係機関との連携

各種事業参加・協働

本年度は評議員、理事および監事等の改選期に当たり、次の方々によって役員として当地区社協が運営されることとなりました。

|      |        |
|------|--------|
| 顧問   | 野村 政晴  |
| 会長   | 亀澤 弘   |
| 副会長  | 竹谷 康生  |
| 副会長  | 佐野 勝彦  |
| 事務局長 | 木村 知恵子 |
| 会計   | 吉野 三重子 |



本郷中央地区社会福祉協議会  
副会長 竹谷 康生氏



### 新任御挨拶

栄区は市内でも地域の活動が盛んなところで、高齢化率が最も高いが、要介護の方が最も少ないといわれております。これは関係者の活動、特に福祉関係の皆様方の貢献が大きいのと思われまます。この度、その活動の主翼を担っている本郷中央地区社会福祉協議会に参加させていただくことになり光栄、そして嬉しく思っております。微力ながら努力させていただきますので、宜しくお願い致します。



## 特志賛助会員募集

本郷中央地区社会福祉協議会では地域住民のだけれもが心豊かに生活をし、安全で安心できるようお互いが協力し合う住民活動の推進をしております。

福祉の充実を図るため、是非とも皆様の心温まるご支援、ご協力を必要としております。

どうぞ社会福祉協議会の趣旨をご理解頂き、一人でも多くの皆様に特志賛助会員にご加入頂きたくお願いいたします。なお、会員の受付は通年で随時、行っております。

◇賛助会員(年会費)

一口 一、000円

(一口以上お願いいたします)

ご連絡いただいた方には、本協議会役員および民生委員・児童委員などの関係者が集金にお伺いいたします。

詳しくは左記へお問い合わせください。

本郷中央地区社会福祉協議会

事務局 木村知恵子

☎(892) 0197

# 第27回本郷中央地区ミニリンピック

5月30日、桂台中学校の校庭において、本郷中央連合町内会自治会（略称本中連）主催の第27回ミニリンピックが開催されました。あいにくの夜来の雨がグラウンドには水溜り、整備の都合で予定時間を過ぎての開催でしたが、近隣13町内会自治会に、特別参加の訪問の家「朋」「径」のメンバーも加わっての入場行進は、皆元気がいっぱいです。

最初は雨を気にしたり、曇り空を見上げたりしていましたが、魚釣りゲーム、パン食い競争、と進むにつれ、グラウンドに子どもたちの歓声が響きわたり、大人も童心にかえってハッスル、大いに盛り上がりました。

## お目当りは

### 「折りたたみ自転車」!?

本部席の前には、今年のプレゼントの「折りたたみ自転車」2台をはじめ、景品が山積みされ、子どもたちがかわがる来ては、自転車を見てさわり、「かっこいいな、これほしいな」とささやいていました。各競技とも、参加者にはいろいろな賞品が当たり、一〜三位に入賞すれば更にご褒美がまっています。

子供と大人の競技が午前・午後にバランスよく配置されており、力の入る対抗競技は予選で盛り上げ、決勝へつなぐなど、主催者側の工夫を目の当りにしました。綱引きは公田ハイッ自治会、メデイシンポールは桂公田町会が優勝し、ひととき盛大な歓声が上がります。そしてクライマックスの対抗リレーは最高に盛り上がり、フローラ桂台自治会の三連覇で無事終了。みなさん景品を手に、楽しそうに帰路につきました。



気持ちのいい大空のもと、競技に汗を流し、応援に声を枯らして、どの人も笑顔、笑顔。スポーツとはこんなに素晴らしいものだ、今更ながら感じた一日でした。

冒頭にもあるように、ミニリンピックも今年で27回を数えています。本郷中央地区の各町内会自治会の方々も、回を追うごとにそれぞれの団体の一員としての意識が強まってきていると同時に、本郷中央地区の構成員として他の自治会の方々との連帯感も深まってきているように感じます。今後とも回を重ね、地域のさらなる活性化につながることを期待しています

★ 原稿募集 ★  
当地区社協広報部では、地域の皆さんからの福祉の向上に関するものや福祉に関する団体の活動についてなど諸々の話題・意見などお待ちしております。

本誌は3月、6月、9月、12月頃にそれぞれ発行予定ですので、いずれの場合も発行予定の前月末までに、3頁下の段に記載の事務局までお寄せ下さい。  
(広報部)

◆ 編集後記 ◆  
当地区社協も今年6月で創立三十周年を迎え、6月27日には記念のつどいを催すことが出来ました。本紙では、少しでも皆さまのお役に立てる広報活動を続けていきますので、ご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

(編集委員)

#### 編集委員

- 青木 功
- 木村 知恵子
- 前田 万里子
- 柳本 佳子
- 星 明男